2025～2026年度　事業計画

会員増強委員会

委員長　遠藤　幹
副委員長　國久保　純(兼)
委　員　坪川　禮巳　原　豊(兼)

◎活　動　目　標

基本的には、中期ビジョン会員65名を達成する為に、魅力あるクラブ(D誰もが・E笑顔で・I居心地の良い)を目指し、極力退会者を減らす努力をし、クラブ会員の多様性を推進し(若い人、女性、経営者でない人等)入会の可能性のある人の情報収集・種蒔活動を行い、呉南ロータリークラブの長期的な展望を考察しながら会員増強を行う。

◎事　業　計　画

1．会員増強目標は、中期ビジョンを鑑み純増４名とする。(随時)
2．クラブ会員の多様性推進・DEIに関する理解促進のための取組をロータリー情報・研修委員会と行う。(年2回)
3．8月「会員増強・新クラブ結成推進月間」に、会員増強に対する適切なプログラムを実施する。(８月５日)
4．会員増強・退会防止を図る為、委員会を開催する。(随時)
5．「オープン例会」の実施により、会員増強の支援をする。(年４回)

公共イメージ委員会

委員長　上藤淳一
副委員長　西川記史(兼)

◎活　動　目　標

ロータリーがどの様な団体であるか、地域や世界の問題解決のためにどのように協力しているか、また、ロータリー活動がどのように地域社会に変化をもたらしているかについて、地域社会での認知度と信頼感を高め、ロータリーのブランドイメージを強化する。

◎事　業　計　画

1．奉仕活動その他の呉南ロータリークラブに関する情報を、メディアなどを通じて広報し、イメージアップをはかる。(適宜)
　① ロータリーの友、マスコミ(中国新聞 等)、月刊 くれえばん 等への投稿。
2．ＨＰを活用してクラブの活動を地域社会に効果的に広報する。(適宜)
3．クラブＤＸの推進。(適宜)
　① My Rotaryの「登録」と「活用」を推進。
　② Zoom併用のハイブリッド例会運営。

クラブ管理運営統括委員会

統括委員長　　宇都宮　昭　憲(兼)

◎活　動　目　標

クラブ管理運営委員会が所管する５つの委員会(出席委員会、雑誌・会報委員会、親睦(Ｒ家族)活動委員会、プログラム委員会、ロータリー情報・研修委員会)が会長方針に基づき立案された活動目標や事業計画が確実に遂行されるように協力する。

◎事　業　計　画

1．本年の事業開始前に各委員会委員長と1年間の活動について打ち合わせを実施し、必要に応じてアドバイスを行う。(５～６月)
2．クラブ３役と所管する各委員長と定期的な会合を開き事業計画の実施状況を確認し、必要に応じて助言を行う。(適宜)
3．ビジョン委員会と協議を行い、「クラブの行動計画」とは別にクラブそのものの将来を考えた「クラブの戦略計画」を討議する。(適宜)
4．必要に応じて、クラブの定款・細則について改定の検討を行う。(適宜)
5．毎月第１例会において、「四つのテスト」、第３例会において「ロータリーのビジョン声明」の唱和を奉仕プロジェクト統括委員会と協力して実施する。(適宜)
6．会員には、毎例会において「事業計画書」を遂行して出席するように依頼する。幹事からも発信するよう依頼します。(適宜)

出　席　委　員　会

委員長　　笠　原　英　樹
副委員長　　岡　本　正　信(兼)
委　　員　　藤　本　哲　智

◎活　動　目　標

例会への出席はロータリアンの義務であり活動の基本です。

例会のみならず各種大会、事業、メイク等、またZoom併用も行っており楽しむための方法、集まることを会員に奨励する。

◎事　業　計　画

1．例会の出席率を委員会が検討し、その後の例会に出席率、検討内容を発表し、メークアップを奨励する。(通年)
2．地区大会、ＩＭ、地区セミナー、奉仕プロジェクト活動等に出席依頼する。(随時)
3．前年度100％出席者を発表する。(７月)
4．出席率90％以上を目標とする。

雑誌・会報委員会

委員長　村永　朋
副委員長　岡田光隆(兼)
委　員　西村英昭

◎活　動　目　標

「ロータリーの友」購読を推奨し、各委員会がロータリー情報を取得し、ロータリアンとしての自覚を深めるよう努める。

◎事　業　計　画

1.「ロータリーの友」に記載されている記事について例会で紹介する。(2ヶ月1回)
2. 週報への投稿を会員に依頼する。(随時)
3. 9月「ロータリーの友月間」には、適切なプログラムを実施する。(9月)
4. クラブ実施事業の活動報告を「ロータリーの友」へ寄稿する。(適宜)

親睦(R家族)活動委員会

委員長　國久保　純
副委員長　原田俊二(兼)
委　員　海生俊史　奥原國雄
真鍋公昭(兼)　垣谷広明(兼)
平田孝治(兼)　松岡秀直(兼)
森田　旭(兼)　岡本正信(兼)
寳﨑　学　海生知亮

◎活　動　目　標

多くの方が参加しやすい事業にする。

◎事　業　計　画

1.「江田島・呉南RC合同納涼花火例会」(7月19日) 於：クレイトンベイホテル
2.「忘年家族例会」(12月23日) 於：クレイトンベイホテル
3.「花見例会」(4月7日)
4.「最終例会」(6月23日) 於：クレイトンベイホテル
5. 社会奉仕活動等への参加協力。(随時)
6. 毎月「親睦会」を、例会日の夜開催。(随時)

プログラム委員会

委員長　垣谷広明
副委員長　中田勝巳(兼)
委　員　奥先憲太郎

◎活動目標

クラブ会長の運営方針に沿ったプログラム作りを目指す。また、ロータリーに対する知識・理解を深め、会員が楽しんで例会に出席したくなるようなプログラム作りを実施する。

◎事業計画

1．会員・家族間の親睦が深められるよう、親睦活動委員会に協力をお願いし、特別夜間例会を実施する。(年４回)
2．RIが奨励する特別行事・月間・週間・日のプログラムを実施する。(随時)
3．会員の協力をお願いし、会員卓話を実施する。(随時)
4．外部講師を招聘し、卓話を実施する。(随時)
5．クラブ内の委員会に対する知識・理解を深めて頂けるようなプログラムを実施する。(随時)
6．ロータリー全般の知識を深めて頂けるような「RLI方式」の研修例会をロータリー情報・研修委員会と協力し実施する。(８月・３月)
7．会員増強委員会と協力し「オープン例会」を実施する。(年４回)

ロータリー情報・研修委員会

委員長　後藤孝彦(兼)
副委員長　平田孝治
委　員　村永　朋(兼)

◎活動目標

ロータリー情報においては「ロータリーの友」、「ガバナー月信」等を利用し会員に情報提供を行い、ロータリーに対しての理解を深めていただく。

研修についてはロータリーの歴史・目的・社会貢献等の情報を共有し、広く理解を得られるよう努める。

◎事業計画

1．プログラム委員会と協議し、地区ロータリー リーダーシップ研究会(RLI)受講修了者をファシリテーターとして「RLI方式」例会を年2回開催する。
(８月・３月予定)
2．新会員・各委員会会員を対象とする「情報集会」を開催する。(適宜)
3．クラブでのロータリー情報の理解を推進する為、例会時においてロータリーの情報を機会あるごとに提供する。(適宜)

奉仕プロジェクト統括委員会

統括委員長　　土　岡　正　和

◎活　動　目　標

フィリピン共和国アンヘルスノースＲＣ及び新規モンゴルでのグローバルプロジェクトの実現に向けて具体化を進める。呉南ロータリークラブ創立55周年にアンヘルスＲＣよりの来訪メンバーを迎える事とアンヘルスノースＲＣの創立50周年の前祝の為にフィリピンへ訪問する。

◎事　業　計　画

1．アンヘルスノースRCと呉南RCの友好クラブとしての定期的な交流を継続する。
（相互訪問　11/１　呉南RC創立55周年記念例会
12/10 アンヘルスノースＲＣ創立例会）

2．アンヘルスノースRCとのグローバルプロジェクトを推進する。

3．新規グローバルプロジェクトとしてモンゴルでの可能性をさぐる。

4．ロータリー財団・米山記念奨学会への事業向上継続に協力する。

5．９月「基本的教育と識字率向上月間」、２月「平和構築と紛争予防月間」には、適切なプログラムを実施する。（９月・２月）

6．奉仕活動の推進策の検討として、４月～５月頃に「堺川清掃奉仕活動」を再開する。

職 業 奉 仕 委 員 会

委 員 長　　岡　田　光　隆
副委員長　　三　戸　初　人(兼)

◎活　動　目　標

職業上の高い倫理を保つと共に社会に奉仕するという理想を推進する。

◎事　業　計　画

1．12月「疾病予防と治療期間」には適切なプログラムを実施すると共に、会員の健康診断を実施する。(12月)

2．1月「職業奉仕月間」に地域の優良企業、事業所にて「職場例会」を実施し、職業奉仕の理解を深める。（１月20日）

3．地域の模範となる「優良職業人」を表彰する。（３月31日）

4．「ロータリアンの行動規範」の啓発。(通年)

社会奉仕委員会

委員長　森田　旭
副委員長　遠藤　幹(兼)
委員　大森栄作(兼)　松岡秀直
　　岡本正信(兼)

◎活動目標

“くれ食の祭典”等をはじめ、地域団体の奉仕活動への参加、協力の実施を行いロータリークラブの公共イメージの向上をはかる。

◎事業計画

1．“くれ食の祭典”への参加。(11月９日)
2．呉市老人クラブ連合会共同「大和波止場清掃奉仕活動」実施。(12月・５月予定)
3．10月「地域社会の経済発展月間」には適切なプログラムを実施。(10月)
4．地域社会奉仕活動への協力、支援の実施。(随時)
5．「堺川清掃奉仕活動」を計画する。(４～５月中)

国際奉仕委員会

委員長　槇田丈洋
副委員長　山本　清
委員　古本幸三　住原勝正(兼)
　　牛窓正規　山本勝広(兼)

◎活動目標

フィリピン共和国アンヘルスノースRCとのグローバルプロジェクトの実現に向けて具体的な動きを進める。新規モンゴル国でのプロジェクトを実現に向けて引き続き必要な準備・打合せを行う。

◎事業計画

1．呉南RC創立55周年記念式典へも参加予定であるアンヘルスノースRCと呉南RCの友好クラブ交流を継続する。(11月１日)
2．アンヘルスノースRCとのグローバルプロジェクトを具体化する。
3．昨年度からスタートしたモンゴル国との新規グローバルプロジェクトを推進する。
4．ロータリー財団の事業向上に協力する。
5．9月「基本的教育と識字率向上月間」、2月「平和構築と紛争予防月間」には適切な、プログラムを実施する。(９月・２月)
6．国際大会(台湾・台北)への参加促進。(６月13～17日)

青少年奉仕委員会

委員長　中田勝巳
副委員長　上藤淳一(兼)
委　員　小松繁夫

◎活　動　目　標

次世代を担う青少年及び若者に国際的な視野を持ち、より良い未来を創造し、指導力を発揮してもらうための足掛かりとなるような支援を行う。

健全な青少年の育成を行う。

◎事　業　計　画

1．「RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)」への参加並びにホスト江田島RCへの協力。(４月４～５日)
2．「One Heart 2025 こどもミュージカルin呉」の活動に対し広告協賛呼びかけ支援を行う。(10月26日〔日〕場所 呉信用金庫ホール)
3．各青少年活動への後援・支援を行う。(通年)
4．インターアクト委員会活動への協力を行う。(随時)
5．5月「青少年奉仕月間」には適切なプログラムを実施する。(５月12日)

インターアクト委員会

委員長　原田俊二
副委員長　三戸初人
委　員　上藤淳一(兼)　平田孝治(兼)
　　松岡秀直(兼)

◎活動目標

インターアクトクラブ例会や様々な奉仕活動を通じて建設的な指導力を養成し、他者へ対する思いやりの心と、実践を通して、平和的な社会の構成者となるような倫理観、道徳観をもった人格の完成を図り、さらに、国際理解と親善を推進できるよう、指導と協力を行う。

◎事業計画

1．清水ヶ丘学園IAC例会へのロータリアンの参加を要請する。(第3火曜日／月)
2．RI第2710地区「IA地区大会(宇部市)」への参加支援を行う。(８月２～３日)
3．11月5日を含む1週間の「世界インターアクト週間」において適切なプログラムを実施する。(11月)
4．IAC卒業生送別例会、新入生歓迎例会に参加する。(３月・４月)
5．呉子ども祭り(呉子ども祭り実行委員会)、クリスマス会(呉市手をつなぐ育成会)でのIAC卒業生送別例会メンバーの協力を支援する。(５月・12月予定)
6．地区「IA指導者研修会(広島商業)」に参加する。(５月)
7．地区「IA顧問教師懇談会」に参加する。(６月)
8．呉南RC奉仕プロジェクト統括委員会主催行事への積極的な参加を支援する。(通年)
9．IAメンバーによる例会行事への参加、校内での奉仕活動行事への支援をする。(通年)
10．IAC生徒にボランティア証明書を発行する。(通年)
11．RI第2710地区海外研修旅行(韓国)への支援をする。(３月予定)

ロータリー財団統括委員会

統括委員長　山岡嗣也
副委員長　土岡正和(兼)
委　員　久間利彦

◎活　動　目　標

「世界でよいことをするための」基金として設置されたロータリー財団の使命に沿った活動を実施する。

財団への寄付推進を行う。

◎事　業　計　画

1．11月「ロータリー財団月間」の担当例会で適切なプログラムを実施し、会員の理解を深める。(11月18日)
2．Ｒ財団寄付金地区目標 年次基金150ドル以上/1名の達成。(通年)
3．ベネファクター　１名以上/クラブの達成。(通年)
4．ポリオ・プラス基金　地区目標30ドル以上/１名の達成。(通年)
5．国際奉仕委員会、社会奉仕委員会と協力してグローバル補助金プロジェクト・地区補助金プロジェクトに向けての活用促進を図る。(通年)
6．ロータリーカードへの理解と普及の推進を図る。(通年)

ポリオ・プラス委員会

委員長　松浦充恭
副委員長　住原勝正
委　員　木村法蔵

◎活　動　目　標

ロータリー会員や一般市民に、ポリオ根絶活動への理解を図り、寄付や募金に協力をお願いし、寄付目標を達成する。

◎事　業　計　画

1．11月「ロータリー財団月間」に例会を通じ、会員にポリオ根絶活動の情報提供を行い、理解を図っていく。(11月18日)
2．例会時にポリオボックスを設置して、ポリオ・プラス支援協力、寄付をお願いする。(随時)
3．“くれ食の祭典”において、会員、他委員会、他団体と協力し、ポリオ根絶を一般市民にPRして、募金をお願いする。(11月９日)
4．ポリオワクチン支援活動の為の「エコキャップ運動」に、協力に対して「感謝状」を贈呈する。

米山記念奨学委員会

委員長　　岡　本　正　信
副委員長　　親　谷　順　子(兼)

◎活　動　目　標

“平和と国際理解の推進”

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する。

◎事　業　計　画

1．普通寄付(年２回)、特別寄付を奨励し、地区の目標の合計で16,000円/1名の達成に努力する。
2．2024学年度ロータリークラブ支援元米山奨学生　史蕊(シーズイ)さんが日本に居る間のケア及びアドバイザーになれるよう努力する。
3．10月「米山月間」には理解・認識を深める為のプログラムを実施する。(10月７日)

ビ ジ ョ ン 委 員 会

委員長　　原　　豊
副委員長　　宇都宮　昭　憲(兼)
委　　員　　歴代会長
　　特別委員(前年度・本年度・次年度 三役)

◎活　動　目　標

創立55周年を迎える中堅クラブとして、今後の呉南ロータリークラブのあるべき姿を考え、クラブ発展のための中・長期的な目標・計画を立案し、提案する。

◎事　業　計　画

1．会員数の減少などの現在クラブが直面する問題に対して、対応策などを検討し提案する。(随時)
2．クラブのより良き伝統の継承、クラブ会員の融和を図る事業を計画し提案する。(随時)
3．クラブ行動計画委員会として、計画案を策定し執行部へ提案する。また、現在進行中の国際奉仕事業に対してサポート行う。(随時)
4．国際ロータリーの方針などに基づき、「定款」、「クラブ細則」の変更見直し案を提案する。(随時)
5．地区における中堅クラブとして、今画の地区における役割や活動について提案する。(随時)

会場監督(S.A.A)委員会

委員長　西川記史
副委員長　岡田光隆(兼)
委　員　中田勝巳(兼)

◎活動目標

例会及びすべての会議(協議会等)が楽しく、整然と運営されるよう常に心を配り呉南RCの伝統にふさわしい例会運営を行い、有意義な会合となるよう責任をもって務める。

◎事業計画

1．気品と品格のある例会運営に努める。
(ロータリーバッジの用、卓話の席での私語等)
守っていただくよう指導する。(各例会時)
2．例会席は例会前に決定し、各自その席でコミュニケーションをとれるようお願いする。(各例会時)
3．ニコニコ、ペコペコ基金の目標額2,000,000円を達成できるよう、会員の皆様にお願いする。(各例会時)
4．例会食の内容は会員の希望に添えるよう努力する。(各例会時)
5．Zoomでの例会参加も継続して行う。(各例会時)
6．外部講師、ゲストの方の来訪に際し、きめ細かい配慮を行う。(各例会時)

会　　計

委員長　親谷順子
副委員長　真鍋公昭

◎活動目標

事業計画に基づき適切な予算を策定し、年間を通じて執行状況を確認、クラブ資金の管理を行う。

理事会、例会にて予算及び決算の報告を行う。

◎事業計画

1．三役及び各委員会の事業計画に基づき適正な年度予算の策定を行う。(6月)
2．クラブ資金、会計帳簿の確認、財産管理を行う。(通年)
3．収入および支出が事業計画に基づいているか定期的にチェックを行い予算の執行状況を把握する。(通年)
4．例会において予算説明(7月)、上半期決算報告(1月～2月)、決算報告をすみやかに行う。
5．会計処理に関して内部監査を依頼する。